

第17回奥州前沢劇場

青春の坂道

～前沢高校 我等が母校～

原作 匂坂 日名子
演出 齋藤 亜矢子
舞台監督 鎌倉 正純
脚色 奥州前沢劇場実行委員会

2017年 **2月19日(日)**
前沢ふれあいセンター

開演/①10:00 ②14:30 (開場1時間前)

入場料 一般/前売り 1,000円【当日1,200円】
高校生以下/前売り 500円【当日 600円】

フレイガイド

12/24
発売

【前沢】イオン前沢店 萬屋エンドー 前沢温泉舞鶴の湯 前沢・古城・白山・生母地区センター 前沢商工会 前沢ふれあいセンター
【北上】江釣子ショッピングセンターバル 北上市文化交流センターさくらホール 【金ケ崎】金ケ崎町商工会 中央生涯教育センター
【水沢】奥州市文化会館Zホール みずさわ観光物産センター
【江刺】江刺体育文化会館ささらホール SSMサンエー
【胆沢】胆沢文化創造センター 【衣川】サンホテル衣川荘
【平泉】悠久の湯平泉温泉 【一関】イオン一関店 フルールきくや搾沢店

主催/奥州前沢劇場実行委員会 共催/前沢商工会
後援/県南教育事務所 奥州市 奥州市教育委員会 岩手ふるさと農業協同組合 (公財)岩手県文化振興事業団 (公社)岩手県青少年育成県民会議 (一財)岩手県老人クラブ連合会 NPO法人岩手県地域婦人団体協議会 奥州市芸術文化協会 奥州市社会福祉協議会 (一社)奥州市体育協会 前沢区老人クラブ連合会 岩手日報社 岩手日日新聞社 胆江日日新聞社 読売新聞盛岡支局 朝日新聞盛岡総局 朝日新聞盛岡支局 河北新報社盛岡総局 NHK盛岡放送局 IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手 奥州エフエム 前沢タイムス
問い合わせ先/前沢ふれあいセンター 奥州市前沢区七丁目裏 104 ☎0197-56-7100

【原画】岩手県立前沢高等学校美術部

母校である前沢高校に産休代替教員としてやってきた佐和子は、学生時代に憧れていた基裕に再会する。平成12年、前沢高校野球部が県予選ベスト4進出を決めた試合に心打たれて進学を決めたという基裕は、今も尚、後輩達のために野球部のコーチとして、また、前沢牛学の特別講師として母校に関わっていた。かたや佐和子は、いまだに自分の道に迷い、地元である前沢と関わる事が出来ずにいた。「先生かっこわるい!」、美術部員である莉南の言葉に、佐和子は母校・前沢高校と向き合うことを決意する。

恩師である大内校長や、美術部員の生徒たち、今も気に掛けてくれる学生時代の友人たちに背中を押され、佐和子は前沢高校を舞台とした脚本を書き始める。岩手県立前沢高校、昭和54年に建てられた現在の校舎に続く長い坂道は、いつしか青春坂と呼ばれるようになった。長い坂道を歩き続けていた10代の頃には気がつかなかった想いに出会いながら、31歳になった佐和子が描いた物語は、前沢劇場となって地域の人々の力で上演される。前沢を愛するすべてのひとのために、前沢劇場の幕は上がる。



〔原画 岩手県立前沢高等学校美術部〕

キャスト

佐和子(30代)・・・高橋聖子	美術部	莉南	成毛陽菜	実行委員	大田	大森悠平
佐和子(高校生)・・・川崎智恵美		沙綾	初貝みなみ	高橋	及川	泉夢
基裕(30代)・・・寺林裕也		あき	後藤瑠奈	少女 恵南	石川	叶彩
基裕(高校生)・・・内記裕太		翼	菅原川和麗	奏南	加藤	真生
志保子		美智	峯川地優	まり	菅原	真希
征子	野球部員	竜太	菊々木健心	すず	菅原	瑞七
基一		洋人	佐々木葉雅	みゆ	菅原	七美
美和		翔太	千葉藤晋	少年 とも	菅野	遠史
聡美		雅樹	伊千葉真奈	りく	小野	高奈
結希		連	千阿藤部博	たく	石川	悠貴
慎吾		実行委員長	阿藤部拓	いぶ	千川	恵理
貴志		事務局	藤原藤紀	近所の	川森	子敬
陽一		実行委員	佐鈴木	アナウ	森	敬
校長		橋本	鈴	ス		
佐藤先生		三浦	小野寺			
		菊池				

スタッフ

阿部美紗子	伊藤慶繁	悟益信子	岩金	清一	彦磨	及川	千鶴	小野	義洋	文子
片瀬川美貴	加佐藤藤	益信子	金佐	久千	喜仁	菊菅	子歩	工藤	洋勝	一子
菅原高千	佐藤高千	子子	佐鈴	千幸	仁健	鈴千	子人	菅鈴木	芳久	桂子
高千	内藤	子太	千那	須川	子子	山	世子	千千	美久	子子
葉	藤	太	須川	江	子	田	子	渡	美	子
	藤	太	須川	江	子	田	子	渡	美	子

※キャスト・スタッフは変更になる場合があります。